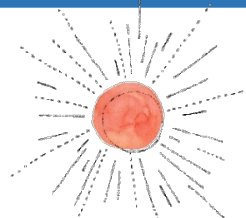


図書館の窓から

長岡市立中央図書館館報 No.184



2024
夏号

『キャンプ日和』

大町 桂月／[ほか]著 河出書房新社



明治大正期に本格的に始まった日本の登山。山を愛したパイオニアたちによる野営や天幕生活が綴られたアンソロジーです。数々の道具に囲まれた便利で快適な現代のキャンプと比べると、自然に溶け込む厳しさ・心地よさを遥かに多く体験していたことが伝わってきます。

『焚き火料理の本』

小雀 陣二／著 山と溪谷社



素材の旨みを引き出し、香ばしさをまとう焚き火料理。グリルやローストなど豪快な肉料理だけでなく、パエリア、パスタ、デザートも楽しむことができます。食材×道具×火加減の掛け合わせで広がるレシピを収録。アウトドアだけでなく、日々の料理にもヒントを与えてくれます。

アウトドア



キャンプや登山をはじめ、川や海での石探しなど、夏に楽しみたいアウトドアの本を集めました。暑い夏こそ、自然を満喫してみませんか。

『八月の六日間』

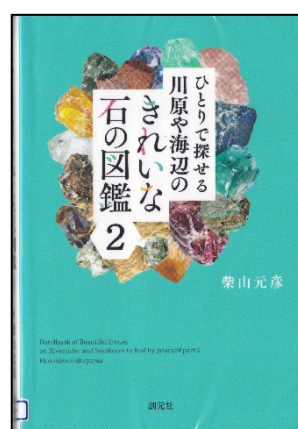
北村 薫／著 KADOKAWA



仕事も私生活もいまいちな主人公の「わたし」。ある時、同僚から山歩きを勧められます。そこで見た、この世とは思えない壮大な眺め。それ以来、「わたし」にとって山は自分の涙腺を緩められる、感情を素直に出せる場所になっていきます。非日常を求めて登山がしたくなる1冊です。

『ひとりで探せる川原や海辺のきれいな石の図鑑 2』

柴山 元彦／著 創元社



私たちの身近な川原や海辺でも、きれいな鉱物が見つかることがあります。自分で見つけたきれいな石は、世界に一つしかない自分だけの宝石になるはず。この夏は、自分だけの宝物を見つける石探しの旅へ出かけましょう。

※シリーズ1巻は市内地域館にあります。全3巻。

*本号で紹介した本は、中央図書館一般小説コーナー付近に展示しています。ぜひご利用ください！

長岡の絵本作家

まつおか たつひで 松岡 達英さん

長岡にアトリエを持ち、自然絵本の第一人者として世界的に活躍されている松岡さん。

赤ちゃん絵本から自然絵本、図鑑、ノンフィクションまで、著書は多岐にわたっています。

長岡市に
原画など442点を
寄贈いただきました！

栃尾美術館で原画展を開催します！

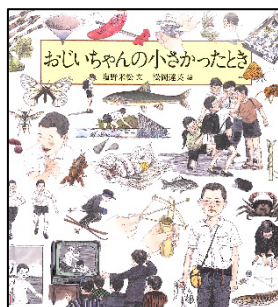
栃尾美術館では、9月21日(土)から11月24日(日)まで、「長岡の絵本作家 松岡達英展」を開催します。

代表作『ぴょーん』、『ぼくのロボット恐竜探検』など、長岡市へ寄贈された絵本の原画や作品を展示します。その豊かな作品世界をご堪能ください。

(問い合わせ: 栃尾美術館 Tel 0258-53-6300)



『でんしゃはっしゃしまーす』松岡 達英 偕成社



『おじいちゃんの小さかったとき』

塩野 米松／文

松岡 達英／絵 福音館書店

1950年代の長岡の子どもたちの懐かしい暮らしが、いきいきと描かれた一冊。

略 歴

1944年 長岡市に生まれる

子どもの頃から自然が大好きで、互尊社の森や栖吉川、東山の不動滝や森立峠^{もったて}を駆け回っていたそうです。一方で、図書館で出会った世界の冒険記や昆虫図鑑に感動し、心をときめかす少年時代でした。

1968年 絵本作家としてデビュー

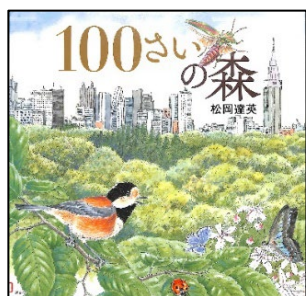
国内および中南米、東南アジア、アフリカなど世界中を旅し、豊富な現地取材に基づいて多くの絵本を創作してきました。



『里山百年図鑑』

松岡 達英／作 小学館

身近な自然やそこに生きる仲間たちとのふれあいが丁寧に描写された、親子で楽しめる自然図鑑。小学館児童出版文化賞受賞。



『100さいの森』

松岡 達英／作 講談社

東京にある明治神宮の大きな森は、世界でも例のない不思議な森。その100年の歩みをご覧ください。

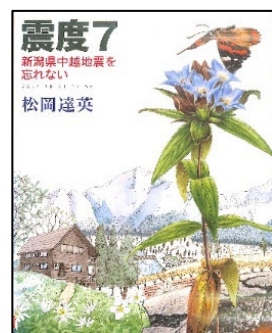
2004年10月

当時川口町にあったアトリエ内で、新潟県中越地震に遭遇しました。その被災経験を元にした『震度7 新潟県中越地震を忘れない』を2005年に出版しました。

近年は 海外での絵本出版や展覧会など活躍の場を広げて、現在も故郷の長岡で、自然観察を大切にしながら絵を描き続けています。

受 賞

日本絵本賞、厚生省児童福祉文化賞、日本科学読物賞、IBBY(国際児童図書評議会)オナーリストなど、数々の受賞に輝きました。



『震度7』

松岡 達英／文・絵 ポプラ社

松岡さんが旧川口町で経験した中越地震の記録。産経児童出版文化賞受賞。

『ぴょーん』

まつおか たつひで／作・絵 ポプラ社

2000年6月の発行から、世界各国で愛されている代表作。全国の自治体の「ブックスタート」で採用されています。



左: 松岡達英さん
右: 磯田市長

貴重な絵本の原画や油彩画を寄贈いただいた松岡さんへ、磯田市長から感謝状が贈られました。

長岡を代表する絵本作家の松岡達英氏から、23タイトルの絵本原画や油彩画などを中央図書館へ寄贈いただき、5月16日に磯田市長から感謝状を贈呈しました。9月に栃尾美術館で展覧会を開催しますので、ぜひご観覧ください。また、松岡氏から『としょかんくん』のロゴやイラストも描いていただいたので、夏休みの子ども向けイベントでも活用予定です。

子どもたちが本との出会いを通じて豊かな感性を育み、これからの社会を生き抜く力を培うことができるよう、長岡市は読書環境の充実に関するさまざまな取り組みを行っています。このたび、中央図書館の活動が評価され、令和6年度「子どもの読書活動優秀実践図書館」として、文部科学大臣表彰を受賞しました。これは、日々おはなし会やブックスタートなどで活動いただいている読み聞かせボランティアの皆様のご協力のおかげです。感謝申し上げます。評価された取り組みである「長岡の子ども100冊」や「ベビーパック」なども、さらに充実させていきたいと考えています。

表彰式は4月23日に東京で行われ、作家の喜多川泰

氏から「読書のススメ」をテーマに特別講演がありました。講話の中で印象深いエピソードを紹介します。

「スーパーでの買い物の話です。ある老女が、棚の奥の方から古い商品や、野菜や果物で傷み気味のものを購入していました。なぜでしょうか？他人が見ると、買い物が下手だなあと思います。実は、その老女は元教師であり、そのスーパーは昔の教え子が経営していたのです。彼女は、スーパー経営は競合他社が多く、苦しいことを知っており、中でも商品ロスが大きな問題であるため、少しでも教え子を助けたいとの考えからそのように購入していたのです。

魂が震える瞬間ではありませんか！自分のことだけを考えて生きていくのか？それとも他人の幸せも考えていくのか？自分はどんな価値観を持つのか？」

講師は、「子どもに読書をすすめることは、未来の誰かが幸せになること」「読書することは、色々な価値観を知る方法」と結びました。講師のお話を聴いて、図書館職員として子どもに本を読んでもらいたい、と改めて強く思いました。

(梅沢 一茂)

中央図書館所蔵資料紹介 No.180 「上古石器図巻」

江戸時代に石のブーム到来！

江戸時代の中ごろ、珍しくて変わった石を収集する「^{ろうせき}弄石家」と呼ばれる人が全国各地に誕生します。彼らはただ収集するにとどまらず、各地の仲間同士で交換したり借用もしていました。やがて、このように集められた石の類をできるだけ忠実に描いた図巻がつくられるようになります。

さて、本図巻は縦25.7cm、横10mにもなる^{かんす}卷子本で、「^{じんたいせき}神代石」「^{らいふ}雷斧」などと呼ばれた石器類を収めています。序文には、越後の弄石家の一人「北越頸城河倉

亭」が、5年かけて収集した一千点に及ぶ石器類の中から奇石54点を選んで模写したとあります。

古いものでは、^{ませいせき}磨製石斧や石棒・石剣・^{どっこいし}独鈷石など、縄文時代までさかのぼり、そのほかにも弥生時代の磨製石剣や古墳時代の子持勾玉等、希少な遺物を確認できます。

それぞれの石器に添えられた発見場所や形状・材質、それに色調の情報も重要で、『^{えちごなよせ}越後名寄』(丸山元純著、宝暦6年)や『^{たちばなこんろん}北越奇談』(橘 崑崙著、文化9年)とともに、越後の考古学史をひもとく上で欠かせない資料となっています。

(小熊 よしみ)



太陽光パネルの実証実験開始

長岡市では、温室効果のガス排出量ゼロの実現に向け、エネルギービジョンとなる「長岡市カーボンニュートラルチャレンジ戦略2050」を令和5年3月に策定しました。

これを受け、雪が降る地域や風の強い場所でも使える太陽光パネルの実証実験を市内で行っており、そのうちの1箇所として中央図書館にも4月から設置されました。

日が当たる面、コンクリート壁面等の条件を検討したうえで、現在の位置(文化公園側の側面)に設置されています。

入口カウンター付近モニターで、発電の状況を確認することができます。



建物壁面に軽量型太陽光パネルを設置しています。



館内のモニターで太陽光パネルの発電状況をわかりやすく表示しています。

【注目ポイント】

通常時は蓄電量(約30%)を超えた電気を館内の電気として使用し、災害停電時には、携帯電話等を充電するなど、緊急対応用の電気として使用できるようにしています。



大人気「ベビーパック2さい」が地域図書館にも登場します



中央図書館の司書が選んだ2～3歳向けおすすめ絵本を3冊ずつパックにしました。袋ごと貸し出します。

0～2歳向け「ベビーパック」と3～5歳向け「キッズパック」との間をつなぐ、「ベビーパック2さい」、本のラインナップはリーフレットをご覧ください。



リーフレットはこちら



選管コラボ企画

実際の投票箱で

ようもよもっと!
よも
よも
ブックス
長岡の子ども100冊

お気に入りの一冊に投票しよう!

10月6日(日)は長岡市長選挙の投票日です。

中央図書館では、長岡市選挙管理委員会とのコラボ企画として、市長選のPRも兼ねて本の人気投票を実施します。

長岡の子どもたちにおすすめの100冊「よもよもブックス」の中からお気に入りを1冊選び、投票用紙に記入して、実際に使われる投票箱に投票してみませんか。

投票日:8月6日(火)～8月25日(日)

投票会場:中央図書館1階閲覧室内

候補作:よもよもブックス

開票・中間発表:令和6年9月 WEB投票締切:令和6年12月31日

結果発表:令和7年2月

あなたの清き1票で、「第3回よもよも大賞」が決定します。どなたも投票できますので、ぜひ奮ってご参加ください。



←投票箱



←記載台



映画会

中央図書館2階講堂
入場無料・申込み不要
開場は上映開始時間の30分前から

7月17日(水) 午後2時～4時05分

「グレン・ミラー物語」

1953年/アメリカ(伝記映画・115分)

7月30日(火) 午後2時～3時35分

「劇場版 ムーミン パペット・アニメーション ムーミン谷の夏まつり」

2008年/フィンランド(アニメーション・87分)

8月14日(水) 午後2時～3時45分

「ノー・マンズ・ランド」

2001年/フランスほか(人間ドラマ コメディ・98分)

9月3日(火) 午後2時～3時35分

「がんと生きる 言葉の処方箋」

2018年/日本(ドキュメンタリー・90分)

10月11日(金) 午後2時～3時50分

「ボブという名の猫 幸せのハイタッチ」

2016年/イギリス(人間ドラマ・103分)



蔵書検索ができる！
ホームページは
こちら



図書館からのお知らせに
関するフェイスブックは
こちら